

原因の考察	
原因	(対策)
利便性を高めても無駄	車並みに便利なバス導入(過疎地=需要高い)
◎利便性が悪い	
乗継が悪い	共通利用できるカード導入
利用料金(運賃)が高い	公共交通環境を整える 乗継アプリの開発
◎車の方が便利(時間が合わない)	
バス停、駅から目的地が遠い	
学校の専用バスが運行されている	利用促進を図る運動
飲んで帰れない	
利用する魅力・メリットがない	
公共交通に興味がない	教育・啓発 →子どもタダ
路線・乗り方を知らない	駐車場料金をとる(運賃=駐車場料金)

主要問題

公共交通の利用者が少ないこと

影響の考察	
赤字になる	さらに進む
廃止にされる	
交通弱者が困る	外出できなくなる
駐車場が不足する	
旅行しづらくなる	名古屋へ行けない
旅行者が来づらくなる	市外から人が来ない
不便な市になる	転入者が減る
企業が少なくなる	
過疎化・田舎になる	
通勤者も重要	

家族の負担が増える

利用者を絞る方が良い

⇔

交通弱者の利便性を高める

⇔

イベント利用